



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月12日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安岡 信幸 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	207,270	15.4	7,552	27.1	7,889	27.1	4,555	39.0
28年2月期第3四半期	179,555	15.3	5,940	2.3	6,205	2.2	3,277	△5.1

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 6,778百万円(68.8%) 28年2月期第3四半期 4,016百万円(△29.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	162.68	144.11
28年2月期第3四半期	117.06	106.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第3四半期	130,720	60,621	42.4
28年2月期	114,330	54,844	43.7

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 55,404百万円 28年2月期 49,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	16.00	—	16.00	32.00
29年2月期	—	17.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	23.7	9,600	13.9	10,000	13.7	5,400	6.2	192.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年2月期3Q	32,267,721株	28年2月期	32,267,721株
29年2月期3Q	4,265,941株	28年2月期	4,265,735株
29年2月期3Q	28,001,861株	28年2月期3Q	28,002,115株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、企業業績は堅調に推移し、全体的には緩やかながらも持ち直しつつあるようですが、消費者マインドはいまだ改善が見られない状況であります。当食肉業界におきましては、先行き不安による消費意欲の減退に悩まされました。さらに、円安進行による原料価格の値上がり懸念も不安材料であります。

このような経営環境のもと、当社グループは、食肉事業の上流から下流までを一貫してグループ内で完結する垂直統合を推し進めることにより、安定した事業経営と安心で安全な食肉製品供給の強化を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、北海道の㈱日高食肉センター、米国のAURORA PACKING COMPANY, INC.などの食肉生産拠点の経営安定化に注力しました。また、これらの拠点で生産される「ゆめの大地」や「AURORA ANGUS BEEF」などの食肉ブランドの販売強化にも努めました。食肉加工品においては、鍋物シーズンの定番アイテム「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズのシェアアップに努めました。

食肉等の小売業においては、イベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化、作業工程の見直し、適正な人員配置のためのシフトコントロールを強化した他、既存店の改装や不採算店の閉鎖、新規ディベロッパーとの取組による新店開発や、新業態での新規出店等、各種施策を推進してまいりました。

食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業において競争力向上のための施策を実施するとともに、焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業では不採算店閉鎖も実施しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,072億7千万円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益75億5千2百万円（前年同四半期比27.1%増）、経常利益78億8千9百万円（前年同四半期比27.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益45億5千5百万円（前年同四半期比39.0%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,837億1百万円（前年同四半期比18.2%増）、セグメント利益は69億1千4百万円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は169億円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は10億4百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は57億円（前年同四半期比9.5%減）、セグメント利益は3億8千4百万円（前年同四半期比11.9%減）となりました。

④その他

売上高は9億6千7百万円（前年同四半期比21.0%減）、セグメント利益は9千2百万円（前年同四半期比19.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて163億9千万円増加し、1,307億2千万円となりました。これは主に、借入金の増加に伴う現金及び預金の増加、売上高増加に伴う売上債権、たな卸資産の増加及び投資有価証券の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて106億1千2百万円増加し、700億9千8百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて57億7千7百万円増加し、606億2千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期通期の業績予想につきましては、平成28年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及
び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動によ
る差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に
変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理
の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映さ
せる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示
の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度につ
いては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する
実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月
1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この変
更に伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微
であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,314	31,006
受取手形及び売掛金	25,216	28,612
商品及び製品	11,228	16,132
仕掛品	814	963
原材料及び貯蔵品	2,688	3,101
その他	2,826	3,115
貸倒引当金	△210	△208
流動資産合計	70,878	82,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,730	34,453
減価償却累計額	△19,333	△20,897
建物及び構築物（純額）	13,396	13,555
土地	10,460	10,988
その他	23,832	24,748
減価償却累計額	△16,820	△17,511
その他（純額）	7,011	7,237
減損損失累計額	△1,353	△1,358
有形固定資産合計	29,515	30,423
無形固定資産		
のれん	9	7
その他	343	402
無形固定資産合計	353	410
投資その他の資産		
投資有価証券	10,728	14,622
退職給付に係る資産	318	314
その他	2,786	2,443
貸倒引当金	△249	△216
投資その他の資産合計	13,583	17,163
固定資産合計	43,451	47,997
資産合計	114,330	130,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,275	23,160
短期借入金	4,318	5,586
未払法人税等	2,177	1,279
賞与引当金	784	1,334
その他	7,180	7,523
流動負債合計	32,734	38,883
固定負債		
社債	9,018	9,015
長期借入金	12,186	15,548
役員退職慰労引当金	209	305
退職給付に係る負債	2,062	1,997
その他	3,273	4,347
固定負債合計	26,751	31,214
負債合計	59,486	70,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,976
利益剰余金	32,360	35,991
自己株式	△2,991	△2,992
株主資本合計	45,619	49,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,767	6,091
繰延ヘッジ損益	△22	0
為替換算調整勘定	684	70
退職給付に係る調整累計額	△52	△31
その他の包括利益累計額合計	4,377	6,130
非支配株主持分	4,847	5,217
純資産合計	54,844	60,621
負債純資産合計	114,330	130,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	179,555	207,270
売上原価	151,145	176,140
売上総利益	28,410	31,129
販売費及び一般管理費	22,470	23,577
営業利益	5,940	7,552
営業外収益		
受取利息	28	27
受取家賃	98	99
受取配当金	125	154
その他	352	358
営業外収益合計	604	639
営業外費用		
支払利息	137	147
為替差損	95	44
賃貸原価	30	47
その他	76	62
営業外費用合計	339	302
経常利益	6,205	7,889
特別利益		
固定資産売却益	10	1
投資有価証券売却益	2	158
その他	4	26
特別利益合計	17	186
特別損失		
固定資産処分損	63	77
減損損失	43	172
店舗閉鎖損失	32	4
その他	1	0
特別損失合計	141	255
税金等調整前四半期純利益	6,081	7,820
法人税等	2,440	2,817
四半期純利益	3,640	5,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	363	447
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,277	4,555

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	3,640	5,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	398	2,340
繰延ヘッジ損益	△22	22
為替換算調整勘定	△35	△603
退職給付に係る調整額	42	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△10
その他の包括利益合計	375	1,775
四半期包括利益	4,016	6,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,627	6,307
非支配株主に係る四半期包括利益	389	470

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	155,415	16,614	6,299	178,330	1,225	179,555	—	179,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,773	38	232	6,044	95	6,139	△6,139	—
計	161,188	16,653	6,532	184,374	1,320	185,695	△6,139	179,555
セグメント利益	5,224	969	436	6,630	115	6,745	△805	5,940

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△805百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△780百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	183,701	16,900	5,700	206,302	967	207,270	—	207,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,206	39	239	6,486	112	6,598	△6,598	—
計	189,908	16,939	5,940	212,788	1,080	213,868	△6,598	207,270
セグメント利益	6,914	1,004	384	8,303	92	8,396	△844	7,552

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△844百万円には、セグメント間取引消去△26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△817百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。